

## 泌尿器科専門医後期臨床プログラム

### 1 プログラムの目的と特徴

2年間の卒後臨床研修を終了した皆さんに、新しい時代のニーズに答え質の高い医療を提供できる専門医になっていただくことを目的としています。泌尿器科は、尿路および生殖器の諸疾患を主に対象とする領域で、他科と異なり、診断から治療まで一人ですることのできる非常にやりがいのある科です。このプログラムの特徴は、東北有数の規模を誇る当院において、専門的に必要とされる症例数や手術件数を効率よく達成できることです。

### 2 取得できる専門医

泌尿器科専門医

### 3 専門医取得の条件

専門医研修（日本泌尿器科学会に入会后）4年目の8月に実施される資格試験に合格し、翌年3月31日まで研修を終了すると泌尿器科専門医を取得できます。

### 4 プログラムの研修内容

- 1) 泌尿器腫瘍《副腎腫瘍、腎がん、腎盂 尿管 膀胱癌、前立腺がん、精巣腫瘍、後腹膜腫瘍
- 2) 尿路結石
- 3) 神経因性膀胱
- 4) 小児泌尿器科(停留睾丸、先天性水腎症、膀胱尿管逆流症,真性包茎など)
- 5) 内分泌・生殖機能・性機能・男性不妊症・ED
- 6) 尿路・性器感染症
- 7) 婦人泌尿器科(尿失禁、性器脱、間質性膀胱など)
- 8) 腎不全、透析、移植
- 9) 外傷・救急(腎外傷、尿管損傷、膀胱破裂、精巣捻転症など)
- 10) endourology・鏡視下手術

#### 到達目標

<研修2年目まで>

検査・処置(静脈性腎盂造影、尿道膀胱造影、排尿時膀胱造影、逆行性腎盂造影、順行性腎盂造影、腎骨盤部血管造影、膀胱鏡、尿道ブジー、スタイレットを用いた尿道カテーテル留置、尿管ステント留置など)

手術(経皮的腎婁造設術、単純腎摘術、膀胱婁造設,経尿道的膀胱腫瘍切除術、膀胱結石切石術、経尿道的尿管結石破碎術、経尿道的前立腺切除術、前立腺被膜下摘除術、包茎手術、徐精術、高位精巣摘除術、精巣固定術、ESWL,ブラッドアクセス造設術、腹膜透析カテーテル留置術)

<研修4年目まで>

手術（副腎摘除術、根治的腎摘除術、腎盂形成術、腎移植、腎尿管全摘術、腹腔鏡下手術、根治的膀胱全摘術、回腸導管造設術、尿管皮膚婁造設術、回腸代用膀胱造設術、前立腺全摘術、膀胱尿管逆流防止術、尿失禁手術、脱防止術など）

### 3) 指導医名

村上房夫部長 (S56 福医大卒) 日本泌尿器科学会指導医、専門医、福島医大臨床教授  
内田久志医長 (H9 福医大卒) 日本泌尿器科学会指導医、専門医、腹腔鏡技術認定医  
川島洋平医長 (H16 福医大卒) 日本泌尿器科学会指導医、専門医

### メッセージ

急激な高齢化社会に向かっている現在、尿失禁 排尿障害 前立腺肥大症は、特に大きな問題となってきています。10年後には、前立腺がんは男性罹患率の1番になるといわれております。また、脳死からの腎移植は特に社会的関心を集めています。ゆえに泌尿器診療は多岐に精通していなければならず、これからはますます泌尿器科医が要望、重要視される時代が来ると思います。

当科は、医局員4人全員が福島医大卒業です。年齢層は20代後半から60代前半で、村 upper をふくめ全て元気そのものであり、楽しく診療、学会発表し、夜の宴会等をこなしております。また、研究会、学会等には積極的に参加し、患者さんのためになる新しい治療法を日々研鑽、学習しております。

症例実績では、H26年手術件数365例でした。

内訳は

膀胱全摘 14 例（回腸代用膀胱 1 例、回腸導管 12 例、尿管皮膚婁 1 例）

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-B t) 106 例

腎細胞がん 32 例（腹腔下摘出 29 例、開腹摘出 3 例）

前立腺がん（腹腔鏡下小切開前立腺全摘術 27 例）

副腎摘出 8 例（腹腔鏡下）

泌尿器系癌（腎がん、膀胱癌、前立腺がんなど）に対しては当科では、患者さんの一般状態を見ながら、‘最小の侵襲で最高の治療効果が得られる方法’をモットーに積極的に治療しております。その結果、患者さんへの負担が少ない腹腔鏡下手術、小切開手術を数多く施行しております。

東北地方でも有数の症例数を誇っており、皆さんの研修を充実したものにできると確信しております。

心ある諸君の研修を待っております。